

News Release

NTT 西日本



西日本電信電話株式会社

(報道発表資料)

2023年4月5日
西日本電信電話株式会社
大分支店

地域密着型サーキュラーエコノミーの実現をめざし、「見えるゴミ箱」を導入

～ 「VIC (価値向上委員会)」メンバーが取り組みをサポート ～

西日本電信電話株式会社 大分支店 (支店長 三笥 博幸、以下 NTT 西日本 大分支店) は、自然との共生を目的として、資源循環型社会の推進に取り組んでいます。

その一環として、NTT 西日本 大分支店が保有する有人ビルに可視化された「見えるゴミ箱」を導入し、社員のリサイクル促進・ゴミ削減に積極的に取り組んでまいります。

1. 背景・目的

現在、企業が環境保全・リサイクル等の SDGs 活動に取り組むことが求められる中、NTT 西日本 大分支店は、保有する有人ビル (NTT 西日本大分支店等 4 社^{※1}が入居) に地元で環境に優しい自社商品を製造・販売している会社にご協力をいただき、可視化された「見えるゴミ箱」を製作し導入いたしました。

地球環境の保全に貢献し、社員がリサイクル促進・ゴミ削減に積極的に取り組むことを目的として 2006 年に九州エリアの NTT 西日本グループの女性社員で構成された自主活動委員会である「VIC (価値向上委員会)」^{※2}メンバーが中心となってこの取り組みを展開いたしました。

※1 : NTT 西日本大分支店、NTT ビジネスソリューションズ、NTT フィールドテクノ、NTT 西日本ビジネスフロント

※2 : VIC (Value Increase Committee の略)

2006 年に九州エリアの NTT 西日本グループの女性社員で構成された自主活動委員会。さまざまな活動を通じて、事業に貢献するとともに、相互啓発によるスキルアップを図ることを目的とし、女性活躍推進や社会貢献活動などに積極的に活動を展開中。

2. 取り組み概要

- (1) 実施時期：2023年3月下旬から順次設置
- (2) 実施場所：NTT西日本 大分支店が保有する有人ビル：3ビル（長浜ビル、府内ビル、大道ビル）
- (3) 実施内容：ゴミ箱の中身が、上部・前面から見える、ゴミ箱（6種類）の設置
（可燃物、紙類、ペットボトル、廃プラスチック、缶/ビン、不燃物/電池）
- (4) 見えるゴミ箱の特徴：
 - ・ 素材は環境負荷の低い段ボールを使用
（リサイクル率95%以上、リサイクル工程のCO²排出量抑制）
 - ・ 蓋・前面は、分別しやすいよう可視化している
 - ・ ゴミの種類に応じた蓋を作製し、上部から見ても分別可能となるように工夫



（ひと目でわかるよう工夫された蓋）



（設置された「見えるゴミ箱」）

3. 今後の展開

NTT西日本 大分支店は今後も、VIC（価値向上委員会）メンバーと連携し、リサイクル促進・ゴミ削減等環境に配慮した取り組みを通して、持続可能な社会の実現に向けて地域に密着した資源循環型社会の推進に取り組んでまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、報道発表日時点のものです。最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。